

理事会資料

令和7年7月24日(木)定例理事会

承認事項

- (1) SNSの活用に関する勉強会(都道府県医師会広報担当理事連絡協議会)の開催について
- (2) 中部医師会連合共同利用施設連絡協議会の開催並びにシンポジウムについて
- (3) 中部医師会連合勤務医担当理事連絡協議会の開催について
- (4) 第1回三重県医療勤務環境改善支援センター運営協議会の開催について
- (5) 第2回健康教育講演会の開催について
- (6) 母子・乳幼児保健講習会の開催について
- (7) 第20回みんなの健康講座の開催について
- (8) 麻しん患者発生時の緊急麻しん含有ワクチン接種体制について
- (9) OASCISを活用した県内における抗菌薬の使用状況等の把握について
- (10) 本年度会費の減免申請(追加)について
- (11) 本会学校医研修会の認定について
- (12) 会員の入会・異動について【表示のみ】
- (13) 講演会等への後援名義使用について
- (14) 日本医師会生涯教育制度に基づく講座の認定について
- (15) 表彰関係について(公衆衛生事業功労者日本公衆衛生協会会長表彰)
- (16) 第1回三重県医療勤務環境改善支援セミナーの開催について
- (17) その他

協議事項

- (1) 損保ジャパンからの医業経営支援について
- (2) 第3回郡市医師会長会議への提出議題について
- (3) 母体保護法による指定医師の件について
- (4) 外部審議会等委員の推薦について
- (5) 三重医学研究振興会への寄附について
- (6) その他

報告事項

- (1) 第1回三重県臨床検査精度管理協議会(7月10日開催)について
- (2) 中部医師会連合第1回地域包括ケア特別委員会(7月12日開催)について
- (3) 三重県予防のための子どもの死亡検証体制整備モデル事業推進会議(7月13日開催)について
- (4) 第1回地方独立行政法人三重県立総合医療センター評価委員会(7月15日開催)について
- (5) 社会保険診療報酬支払基金三重審査委員会事務局令和7年7月審査運営協議会(7月15日開催)について
- (6) 三重県PTA安全互助会第1回理事会(7月16日開催)について
- (7) 日本医師会第4回地域医療対策委員会(7月16日開催)について
- (8) 三重刑務所視察委員会(7月17日開催)について
- (9) 三重県医師国民健康保険組合第160回臨時組合会(7月17日開催)について
- (10) 地方公務員災害補償基金三重県支部審査会(7月16日開催)について
- (11) その他

(案)

令和7年度 母子・乳幼児保健講習会

1. 開催日時：令和8年2月1日（日） 午後1時30分～同4時
2. 開催場所：津市桜橋二丁目191番4（津駅より東へ徒歩約10分）
「三重県医師会館」 TEL 059-228-3822
※Webでの参加も可能。
3. 対象者：医師、保健師、看護師、助産師、保育士、幼稚園教諭、栄養士、
医療従事者、行政関係者（県・各市町母子保健並びに児童福祉担当者等）
4. 講演：

【講演1】（30分）

（座長）三重県産婦人科医会長 小畑英慎氏
『未定』
（講師）伊勢赤十字病院 産婦人科 部長 前川有香氏

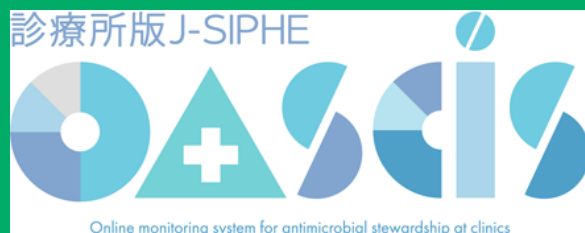
【講演2】（60分）

（座長）三重県小児科医会長 落合仁氏
『就学に向けた5歳児健診の重要性（仮）』
（講師）埼玉医科大学総合医療センター
小児科 教授 是松聖悟氏

【講演3】（60分）

（座長）三重県医師会副会長 野村豊樹氏
『父親の産後うつと家族支援（仮）』
（講師）国立成育医療研究センター
政策科学研究部 部長 竹原健二氏

主 催 公益社団法人 三重県医師会
(共催予定) 三重県／三重県産婦人科医会／三重県小児科医会／三重県精神科病院会／
三重県小児保健協会



を活用した 県内における抗菌薬の使用状況等の把握について

1. OASCIS三重県グループの現状報告

2. ご相談事項

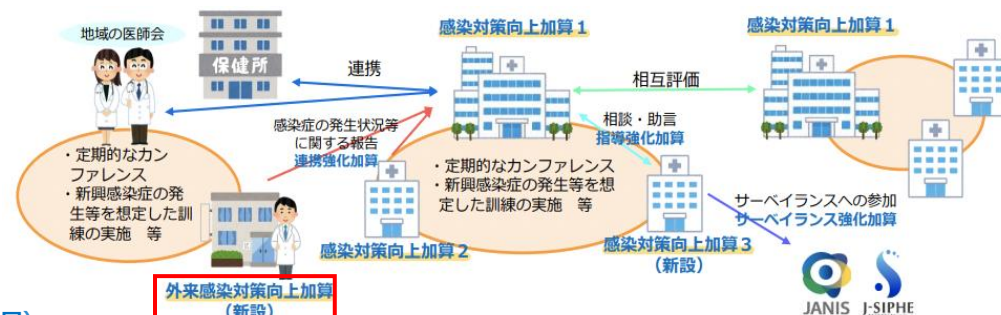
県内全診療所に対するOASCISに関する情報提供
および県グループへの加入依頼に関して

これまでの診療報酬改定における抗菌薬の適正使用にかかる評価

令和4年度診療報酬改定

地域での感染対策の取組の更なる推進

- 新設された外来感染対策向上加算、連携強化加算、サーベイランス強化加算において、感染対策向上加算1の医療機関や地域の医師会等から助言を受けることなど、**抗菌薬の適正使用に関する取組の実施が診療報酬上で評価**されました。



(新) 外来感染対策向上加算 6点 (初診料・再診料で患者1人につき月1回)

[施設基準※]

- (9) 院内の抗菌薬の適正使用について、連携する感染対策向上加算1に係る届出を行った医療機関又は地域の医師会から助言を受けること。また、(以下略)
- (15) 「抗微生物薬適正使用の手引き」を参考に、抗菌薬の適正な使用の推進に資する取組を行っていること。 等

(新) 連携強化加算 3点 (初診料・再診料で患者1人につき月1回)

[施設基準※]

- (1) 外来感染対策向上加算に係る届出を行っていること。
- (2) 当該保険医療機関が連携する感染対策向上加算1に係る届出を行った他の保険医療機関に対し、過去1年間に4回以上、感染症の発生状況、抗菌薬の使用状況等について報告を行っていること。

(新) サーベイランス強化加算 1点 (初診料・再診料で患者1人につき月1回)

[施設基準※]

- (1) 外来感染対策向上加算に係る届出を行っていること。
- (2) 院内感染対策サーベイランス (JANIS)、感染対策連携共通プラットフォーム (J-SIPHE) 等、地域や全国のスーベイランスに参加していること。

OASCISでも可

(※施設基準については、令和6年度診療報酬改定に準拠)

<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/000911809.pdf>を基に作成

令和6年度診療報酬改定

抗菌薬の使用実績に基づく評価の新設

- 我が国における**Access抗菌薬※の使用比率が低い現状を踏まえ**、適正使用を更に促進する観点から、外来感染対策向上加算及び感染対策向上加算に**抗菌薬適正使用加算が新設**されました。

(新) 抗菌薬適正使用体制加算 5点 (初診料・再診料で患者1人につき月1回)

[施設基準]

- (1) 抗菌薬の使用状況のモニタリングが可能なサーベイランスに参加していること。
- (2) 直近6か月において使用する抗菌薬のうち、Access抗菌薬に分類されるものの使用比率が60%以上又はサーベイランスに参加する医療機関全体の上位30%以内であること。

診療所では、OASCIS

(※Access抗菌薬：抗菌薬使用量から抗菌薬の適正使用を判断するために用いられる指標である「AWaRe分類」において、一般的な感染症の第一選択薬として位置付けられているもの (P.3参照))

<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/001252076.pdf>を基に作成

(参考) AWaRe分類

AWaRe分類	ATC	一般名称	一般名称(英語)
Access	J01AA02	ドキシサイクリン	doxycycline
Access	J01AA07	テトラサイクリン	tetracycline
Access	J01BA01	クロラムフェニコール	chloramphenicol
Access	J01CA01	アンピシリン	ampicillin
Access	J01CA04	アモキシシリン	amoxicillin
Access	J01CA06	バカンピシリン	bacampicillin
Access	J01CA08	ピブメシリナム	pivmecillinam
Access	J01CE08	ベンザチンベンジルペニシリン	benzathine benzylpenicillin
Access	J01CR02	アモキシシリン/クラブラン酸	amoxicillin and clavulanic acid
Access	J01CR04	スルタミシリン	sultamicillin
Access	J01DB01	セファレキシン	cefalexin
Access	J01DB05	セファドロキシル	cefadroxil
Access	J01DB07	セファトリジン	cefatrizine
Access	J01DB11	セフロキサジン	cefroxadine
Access	J01EB02	スルファメチゾール	sulfamethizole
Access	J01EC01	スルファメトキサゾール	sulfamethoxazole
Access	J01ED01	スルファジメトキシン	sulfadimethoxine
Access	J01EE01	スルファメトキサゾール /トリメトプリム	sulfamethoxazole and trimethoprim
Access	J01FF01	クリンダマイシン	clindamycin
Access	P01AB01	メトロニダゾール	metronidazole
Access	P01AB02	チニダゾール	tinidazole
Reserve	J01DI03	ファロペネム	faropenem
Reserve	J01XX08	リネゾリド	linezolid
Reserve	J01XX11	テジゾリド	tedizolid
Reserve	A07AA10	コリスチン	colistin
Reserve	A07AA05	ポリミキシン B	polymyxin B
Not recommended	J01CR50	アンピシリン/クロキサシリン	ampicillin and cloxacillin
未分類	J01CAXA	シクラシリン	cyclacillin
未分類	J01MB02	ナリジクス酸	nalidixic acid

- ・本表は国内で使用されている抗菌薬（J01）をWHOの推奨するAWaRe分類*に当てはめて作成した。
- ・WHOの本分類では抗菌薬全体に占める Accessの割合が60%以上になることを目標に定めています。
- ・**Access**: 一般的な感染症の第一選択薬
- ・**Watch**: 耐性化が懸念されるため限られた適応に使うべき薬
- ・**Reserve**: 最後の手段として保存する薬

AWaRe分類	ATC	一般名称	一般名称(英語)
Watch	J01AA01	デメクロサイクリン	demeclocycline
Watch	J01AA08	ミノサイクリン	minocycline
Watch	J01DC02	セフロキシム	cefuroxime
Watch	J01DC04	セファクロル	cefaclor
Watch	J01DC07	セフォチアム	cefotiam
Watch	J01DD08	セフィキシム	cefixime
Watch	J01DD13	セフポドキシム	cefpodoxime
Watch	J01DD14	セフチブテン	ceftibuten
Watch	J01DD15	セフジニル	cefdinir
Watch	J01DD16	セフジトレン	cefditoren
Watch	J01DD17	セフカペン	cefcapene
Watch	J01DD18	セフテラム	cefteram
Watch	J01DH06	テビペネム	tebipenem pivoxil
Watch	J01FA01	エリスロマイシン	erythromycin
Watch	J01FA02	スピラマイシン	spiramycin
Watch	J01FA03	ミデカマイシン	midecamycin
Watch	J01FA06	ロキシスロマイシン	roxithromycin
Watch	J01FA07	ジョサマイシン	josamycin
Watch	J01FA09	クラリスロマイシン	clarithromycin
Watch	J01FA10	アジスロマイシン	azithromycin
Watch	J01FA12	ロキタマイシン	rokitamycin
Watch	J01FA15	テリスロマイシン	telithromycin
Watch	J01FF02	リンコマイシン	lincomycin
Watch	J01MA01	オフロキサシン	ofloxacin
Watch	J01MA02	シプロフロキサシン	ciprofloxacin
Watch	J01MA04	エノキサシン	enoxacin
Watch	J01MA06	ノルフロキサシン	norfloxacin
Watch	J01MA07	ロメフロキサシン	lomefloxacin
Watch	J01MA09	スパルフロキサシン	sparfloxacin
Watch	J01MA12	レボフロキサシン	levofloxacin
Watch	J01MA14	モキシフロキサシン	moxifloxacin
Watch	J01MA17	ブルリフロキサシン	prulifloxacin
Watch	J01MA19	ガレノキサシン	garenoxacin
Watch	J01MA21	シタフロキサシン	sitafoxacin
Watch	J01MA22	トスフロキサシン	tosufloxacin
Watch	J01MA25	ラスクフロキサシン	lascefloxacin
Watch	J01MB03	ピロミド酸	piromidic acid
Watch	J01MB04	ピベミド酸	pipemidic acid
Watch	J01MB06	シノキサシン	cinoxacin
Watch	J01XX01	ホスホマイシン	fosfomycin
Watch	A07AA08	カナマイシン	kanamycin
Watch	A07AA09	バンコマイシン	vancomycin
Watch	A07AA11	リファキシミン	rifaximin
Watch	A07AA12	フィダキソマイシン	fidaxomicin
Watch	J04AB02	リファンピシン	rifampicin
Watch	J04AB04	リファブチン	rifabutin

OASCISのシステム概要・地域連携への活用

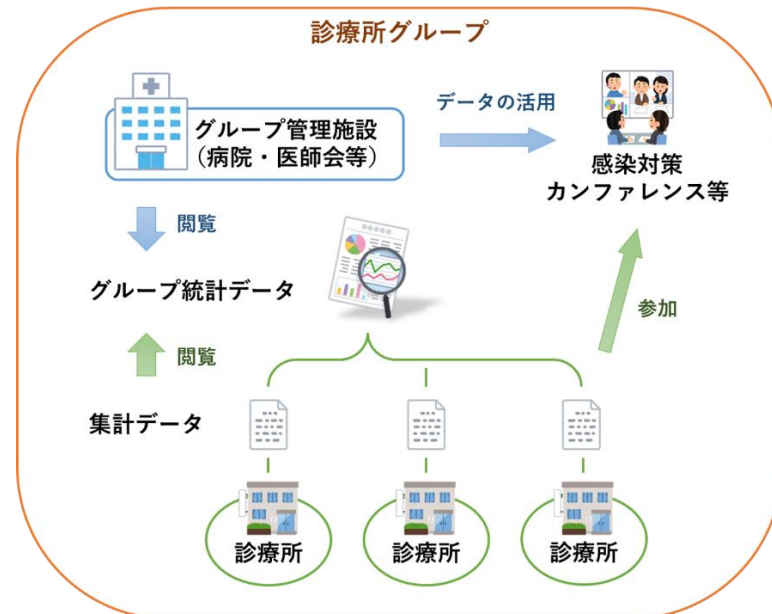
OASCISのシステム概要

- OASCISとは、全国の診療所における抗菌薬の処方や傷病名の情報を解析し、可視化することにより、診療所での抗菌薬の適正使用を推進することを目的としたシステムです。
- 匿名化したレセプト情報をインターネット上でOASCISにご登録いただくことで、
 - 全国における抗菌薬処方の推移や地域の傾向の把握
 - 自施設における年齢別の受診件数、傷病名グループ別の抗菌薬処方率・内訳などの詳細な分析結果の確認、処方内容の振り返り
 - 全国や参加グループの統計データと自施設データの比較等が可能になります。（P.6～参考資料 参照）
- また、OASCISを活用することで、サーベイランス強化加算や抗菌薬適正使用体制加算が算定可能になります。（ただし、抗菌薬適正使用体制加算の算定には、一定水準以上の良好な抗菌薬使用状況が必須）
- 現在、三重県内では計57診療所がOASCISに参加登録されています。（2025年5月27日現在）



地域連携への活用

- OASCISでは、任意のグループを作成することが可能で、グループのデータを集約・分析し、活用することができます。（例：三重県グループ、小児科グループ、感染対策向上加算 1 グループ）
- この機能を活用することで、各施設のデータを他施設（全国データ、三重県グループなど）と経時的に比較することができ、各施設の抗菌薬適正使用・薬剤耐性菌対策の立案に結びつけることができるため、昨年度、MieICNetの枠組みの中で、県医師会および三重県のご協力の下、三重大学医学部附属病院が管理施設となった三重県グループを作成させていただき、計30診療所に県グループに参加登録いただきました。

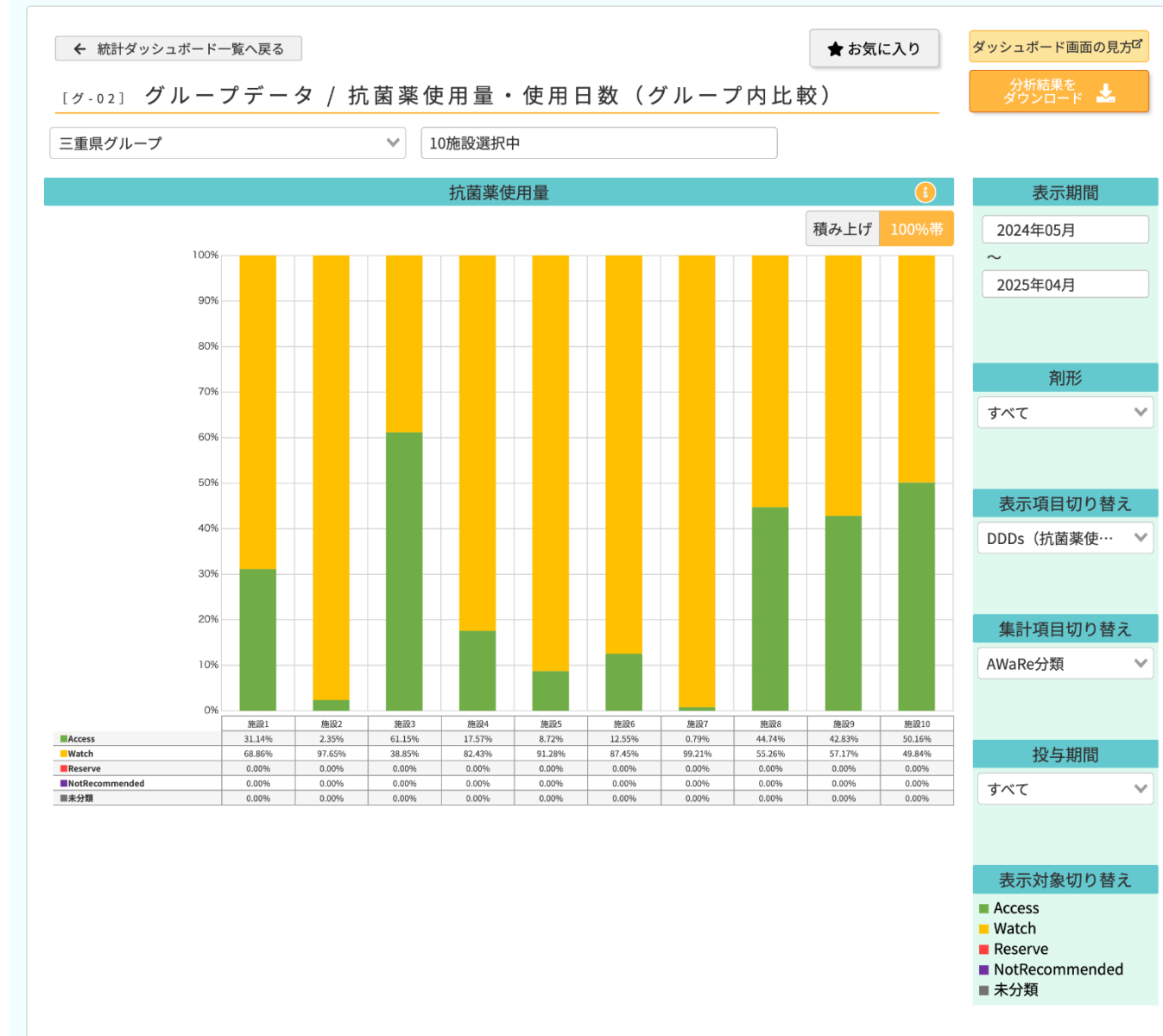


活用例1) 感染症分類別の抗菌薬使用状況（全国データとの比較）



6

活用例2) AWaRe分類割合の施設間比較



※一度に表示できるのは、システム上最大10施設までですので、あくまで例示です。

活用例3) 県グループの抗菌薬処方率の経時的推移

← 統計ダッシュボード一覧へ戻る

★ お気に入り

ダッシュボード画面の見方

[統 - 03] 統計データとの比較 / 抗菌薬処方率の推移 (統計データとの比較)

分析結果を
ダウンロード

比較元 三重県グループ

診療所を選択してください。

← 自施設を選択すれば、県グループとの比較が可能
(自施設データは、図中で*マークで表示されます)

比較対象 地域・診療科 グループ すべて

抗菌薬処方率 (自施設・統計データの比較)

表示最新年月

2025年04月

傷病名グループ

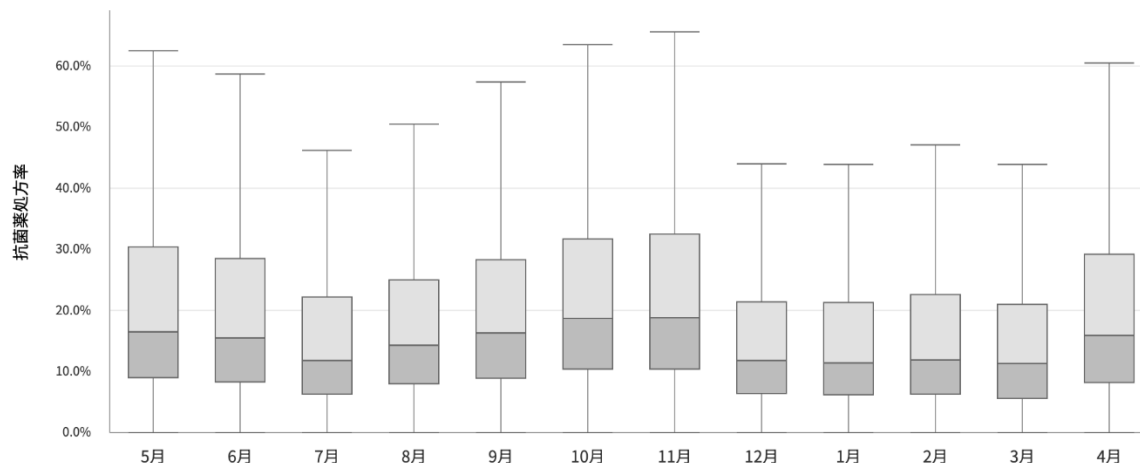
気道感染症

← 代表的な感染症別
(下痢症、尿路感染症、肺炎など)
に閲覧可能

分母切り替え

処方件数

受診件数



* 自施設の
抗菌薬処方率

※表示件数が10件未満の場合は表示されません。

OASCISおよび三重県グループに参加するメリット、 本日も相談させていただきたい事項

- OASCISを活用することで、サーベイランス強化加算や抗菌薬適正使用体制加算が算定可能になる。
(ただし、抗菌薬適正使用体制加算の算定には、一定水準以上の良好な抗菌薬使用状況が必須)
- 各施設のデータを、他施設（全国データ、三重県グループなど）と経時的に比較することができ、各施設における抗菌薬適正使用・薬剤耐性菌対策の立案に結びつけることができる。

**→三重県内各診療所に対して、OASCISに関する情報提供および
三重県グループへの参加登録依頼させていただきたく存じます。**

日本医師会生涯教育制度に基づく講座の認定申請一覧

令和7年7月24日定例理事会審査分

受付	講演会名／開催日時・場所	申請者	合計単位	カリキュラムコード (各単位数合計)	報告日	受講 者数	備考
	三重県産業保健研修会－第2回スキルアップ専門 研修－（津：主催会場） 令和7年10月16日（木）午後2時～ 於：三重県医師会館	三重県医師会	3単位	5 (1.5) 11 (1.5)			
	〃（桑名：遠隔会場） 令和7年10月16日（木）午後2時～ 於：桑名医師会館（配信先）	〃	〃	〃			
	〃（四日市：遠隔会場） 令和7年10月16日（木）午後2時～ 於：四日市医師会館（配信先）	〃	〃	〃			
	〃（鈴鹿市：遠隔会場） 令和7年10月16日（木）午後2時～ 於：鈴鹿市医師会館（配信先）	〃	〃	〃			
	〃（志摩：遠隔会場） 令和7年10月16日（木）午後2時～ 於：志摩医師会館（配信先）	〃	〃	〃			
	〃（伊賀：遠隔会場） 令和7年10月16日（木）午後2時～ 於：伊賀医師会館（配信先）	〃	〃	〃			
	新生児聴覚スクリーニングに関する講習会 令和7年10月19日（日）午後1時30分～ 於：三重県医師会館	三重県医師会	2単位	10 (1) 38 (1)			

★20251016「三重県産業保健研修会－第2回スキルアップ専門研修－（津：主催会場）」

◆演題一覧（演題毎に1カリキュラムコード(CC)、1時間1単位〈最短30分0.5単位〉）

※1時間以上の講演でも同じ内容の演題には同一カリキュラムコードとなります。

○講演時間（分）／14：00～15：30（90分）

カリキュラムコード（単位）／11（1.5単位）

講演題：過重労働による健康障害

講師肩書：産業医科大学 ストレス関連疾患予防センター センター長

講師氏名：森本泰夫

○講演時間（分）／15：30～17：00（90分）

カリキュラムコード（単位）／5（1.5単位）

講演題：長時間労働者に対する面接指導

講師肩書：産業医科大学 ストレス関連疾患予防センター センター長

講師氏名：森本泰夫

★20251019「新生児聴覚スクリーニングに関する講習会」

◆演題一覧（演題毎に1カリキュラムコード(CC)、1時間1単位<最短30分0.5単位>）

※1時間以上の講演でも同じ内容の演題には同一カリキュラムコードとなります。

○講演時間（分）／13：30～14：30（60分）

カリキュラムコード（単位）／38（1単位）

講演題：情報提供

講師肩書：①寺田産婦人科 院長 伊勢地区医師会理事

②三重県立聾学校 乳幼児教育相談担当

③三重県子ども・福祉部 子どもの育ち支援課 係長

講師氏名：①寺田 厚

②晒名栄子

③岡田 登

○講演時間（分）／14：30～15：30（60分）

カリキュラムコード（単位）／10（1単位）

講演題：新生児聴覚スクリーニングとその後の支援体制の現状と課題

講師肩書：東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授

講師氏名：樫尾明憲



三医会

三重医学研究振興会

趣 意 書



— 三重とつながる医学研究・診療への助成のため、ご寄附をお願い申し上げます —

公益社団法人 三重県医師会 会長 御机下

謹啓 盛夏の候、貴会にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より三医会ならびに三重医学研究振興会の活動に対し、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、公益財団法人三重医学研究振興会は、医学研究や地域医療の質的向上を通じて、地域社会の福祉に寄与することを目的に設立され、皆さまからのご寄附により運営されている法人です。昨年度は、三重県内外の医療機関・団体、ならびに三医会会員より 1,392 万円のご寄附を賜り、そのうち 1,000 万円を三重大学医学部や三重県に關係する研究・事業への助成に充てることができました。地域に根ざした医学・医療の発展に貢献できたことを、私も一同、大きな喜びとしております。これもひとえに、皆さまからの温かいご支援の賜物と、あらためて深く感謝申し上げます。

本年度も、例年同様に以下の賞を設け、選考・助成を行う予定です：三医会賞および三重医学若手研究者賞（医学研究部門）、吉田壽記念三重医学研究振興会賞（臨床医学部門）、三重医学貢献賞（医学教育・社会貢献部門）、緑の風記念三重医学研究振興会賞（基礎医学・看護学部門）。

つきましては、貴会におかれましても、本年度の三重医学研究振興会へのご寄附をお願い申し上げます。ご案内差し上げる次第です。皆さまからのご支援は、地域医療と医学研究のさらなる充実、そしてより良い社会づくりへとつながってまいります。

あわせて、貴会内の関係医師・スタッフの皆さまにもご寄附の趣旨をご案内いただければ幸いです。

なお、当振興会へのご寄附は税制上の優遇措置（所得控除または税額控除）の対象となっております。詳細につきましては、別紙をご参照ください。

末筆ながら、皆さまのますますのご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

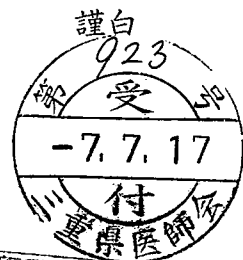
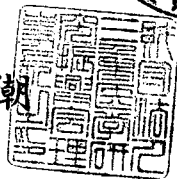
何卒、引き続きのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和7年7月吉日

三医会会長

三重医学研究振興会理事長

中村 真潮



令和7年度 三重医学研究振興会 募金要領

募金目的

医学・医療分野の学術研究、診療実績などに対する助成、および医療従事者を対象とした研修会などの実施団体に対する助成

募金目標額

18,000,000 円

募金対象

本趣旨に賛同される三医会会員など

募集期間

令和8年3月31日まで

納入方法

寄附金は一口1万円で同封の振込用紙（百五銀行）を用いて納入してください。

なお当財団への寄附金は、税制上、所得控除の対象となります。

ご寄附いただきましたら寄附金受領証明書をお送り致しますので、確定申告の際にご提出ください。

その他

この寄附金は、事業の実施（公益目的事業）の経費に充てるほか、当財団の運営費（法人会計）の一部に充てます。

お問い合わせは、下記宛に電話、Fax またはメールにてご連絡ください。

三重医学研究振興会（三医会事務局内）事務担当：田中、廣

電話：059-231-5469 Fax：059-231-6069

メール：sanikai@med.mie-u.ac.jp

医保第01-97号

令和3年10月19日

公益財団法人三重医学研究振興会

理事長 竹田 寛 様

三重県知事 一見 勝之

税額控除に係る証明書

貴法人が、租税特別措置法施行令第二十六条の二十八の二第一項に規定する要件を満たしていることを証明します。

本証明書に係る有効期間は、以下のとおりです。

令和3年10月19日 から 令和8年10月18日まで

令和7年度第1回三重県臨床検査精度管理協議会

—事項書—

令和7年7月10日（木） 18時00分より
三重県医師会館 2F 地域医療委員会室

議 事

1. オブザーバー出席者の紹介

三重大学医学部附属病院 杉浦 英美喜 先生

三重大学医学部附属病院 爲田 雅彦 先生

2. 令和6年度 活動報告【資料1】

3. 令和6年度 収支報告【資料2】 【資料3】 【資料4】

4. 令和7年度 事業計画案【資料5】 【別紙1～7】

5. 令和7年度 収支予算案【資料6】

6. アンケート調査の実施について【資料7】 【資料8】

第63回日臨技中部圏支部医学検査学会

テーマ：検体検査クリティカルバリュー(パニック値)運用の現状と課題

審議：標準化事業としてクリティカルバリューの運用に関するアンケート調査を実施し、アンケート結果をもとに第63回日臨技中部圏支部医学検査学会での発表を行いたい。

7. その他

- ・ロゴについて
- ・封筒作成について
- ・ホームページ閲覧数【資料9】

令和 6 ・ 7 年度第 4 回地域医療対策委員会

2025 年 7 月 16 日（水）

15：00～17：00

日本医師会館 506 会議室（WEB 開催）

議事次第

1. 開会
2. 能登地方における地域医療の現況とこれから
3. 会長諮問「地域の実情に応じた地域医療について」
4. 閉会

資料目録

資料 No.	内容
地域0401	出席者名簿
地域0402	第 3 回議事要旨案
地域0403	各委員提出報告書のとりまとめ
地域0404	令和 6、7 年度地域医療対策委員会答申作成の方針 （案）
地域0405	（委員提出資料） ● 坂本委員提出資料 ● 佐々木委員提出資料